



Until we are all equal



Plan International

ユースの雇用と起業に 求められるスキルと機会

2024年に得たエビデンスの概略

プラン・インターナショナルは、グローバル戦略: **立ち上げ、女の子たち**に基づき、人道危機への対応のみならず、6つの優先テーマ分野でのプログラム実施に焦点を置き、80超の国々で活動を展開している。

2024年末、私たちは活動対象国とプロジェクトから得られた各テーマ分野のエビデンスについて、成果と評価、内部・外部による重要調査、年次報告書の数値・データを含めた検証を実施した。本概要では、ユースの雇用と起業に必要なスキルと機会について真に求められていることを、2024年に得たエビデンスから明らかにし、そこから学ぶべきことと共に、その一部をまとめている。

プラン・インターナショナルでは、社会的・経済的に困難な状況下にあるユース、特にユース女性が知識とスキルを習得し、就労機会を得て自ら選んだディーセントな(働きがいのある人間らしい)仕事に積極的に取り組める世界の実現に重点を置いて、ユースの雇用と起業に取り組んでいる。中核となる重点分野は:

- ライフスキル・職業スキル・起業スキルとコミュニティ支援
- ユースの起業(自営)
- ユースの雇用(賃金労働)
- 民間部門でのジェンダーの視点に立ったディーセントな職場環境

活動の詳細は [こちらから](#)



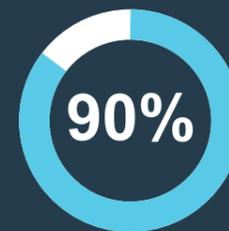
主要な洞察



- **世界の雇用環境は急速に変化しており、労働市場のニーズは、グローバル化・技術革新・人口動態の変化・気候変動により進化している。**多くの国で、増加する人口に見合う雇用機会が提供できず、世界全体で、ユースの20%が雇用・教育・訓練のいずれにも属していない(NEET)状況にあり、その3分の2は女性である。
- **プラン・インターナショナルでは、ユース、特にユース女性が、希望するディーセントな仕事に就けるよう、知識やスキル、就労機会を得ることに焦点を当ててユースの雇用と起業に取り組んでいる。**具体的には、就職または自分でビジネスを始めるための訓練・市場分析・官民部門と連携した提唱活動等があり、グリーンスキルとデジタルを活用した取り組みの重要性が高まっている。2024年、プランのプログラムには460万人超が参加し、その内70万人超が女の子だった。
- **ユースに対する効果的な訓練と能力開発は、2024年のプランの重要な活動テーマの1つだった。**訓練を修了した多くのユースは、ライフスキルや職業スキル、起業スキルが明らかに向上した。ユースは、長期的な支援とネットワークづくりはもちろん、こうしたスキル習得からメンター制度と指導、自分たちの起業アイデアのコンセプトづくりと実行、あるいは就職に際した行動に至る過程全体にわたった支援の重要性を強調し続けた。
- **各取り組みが包括的な市場分析に基づいたものになるよう徹底すると共に、研修・訓練には実地体験を伴うジョブ・シャドウイングなどの手法を組み合わせること等が、成功の鍵となる。**だが、今もジェンダーに基づく障壁の影響が女の子とユース女性に及ぶこと、(特に地方部では)雇用機会が限られていること、さらに金融サービスの利用が難しいといった問題は、依然として残っている。
- **持続的な変化の実現には、官民部門との連携による継続的な提唱活動が必須であり、ユースの雇用がもたらすメリットを伝えると共に、ディーセントな労働条件・規制環境・金融サービス利用を求める提唱活動を行うことが重要である。**

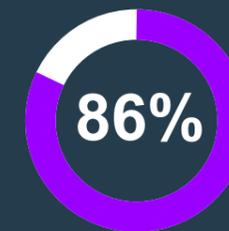
数値で見る 2024年

参加したプロジェクトの訓練活動の終了時には...
人生と仕事のためのスキルを身につけるユース



のユースが、ライフスキルに自信があると回答し、内、女の子は87%、男の子は90%だった

(11のプロジェクトに参加したユース2,384人の観察データ)



のユースが職業スキルを發揮できるようになった

(9つのプロジェクトに参加したユース12,000人超の観察データ)



90%のユースが起業能力を發揮し、内、女の子は90%、男の子は91%だった

(10のプロジェクトに参加したユース2,546人の観察データ)

経済的エンパワーメントに向けた提唱活動

経済的エンパワーメントに関して
17の働きかけが成功し、例えば:



女の子の権利に関する法律・政策・規制・指針に関する**6つの変更・改善**



義務の担い手または協力者によるプログラムモデルの採用・再現・拡大に関する**8つの前進**

(年次報告、2023年7月~2024年6月)

ユース雇用と起業に関するプランのグローバルな取り組み



77万500人の女の子がスキル向上と就労機会獲得を達成

460万人のユースと大人に、ユースの雇用と起業に関するスキルと機会のための支援プログラムを提供

(グローバル・アドボカシー戦略に基づく年次報告、2023年7月~2024年6月)

喫緊の課題は何か 主な調査結果

世界の雇用情勢は急速に変化している。労働市場のニーズは、グローバル化・技術革新・人口動態の変化・気候変動により進化している¹。また、多くの低・中所得国では、人口が継続的に増加しており、今後、労働市場に新たに数百万人が加わることになる。しかし、こうした国々の経済は、この労働力を受け入れられるほどのスピードで成長していないため、アフリカの国々やアジア・太平洋の国の一部では、仕事不足の状態が続いている。世界全体で、ユースの13%が職に就かず20%がNEETであり、その内3分の2は女性である²。サハラ以南アフリカは失業率30%超と、世界最高を記録しており、アフリカの大多数の国でユース女性の失業率はユース男性よりさらに高くなっている³。

「学校の成績がよければ、助産師になれます。
それが私の夢です」

Fezire, 17歳、トーゴ

プランが2024年に行った調査では、4地域でユースとの面談を実施し、ユースが就職や起業を試みる際に重視する支援は、**継続的なメンター制度と指導**であることがわかった。ユースは、長期的な支援とネットワークづくりはもちろん、スキル習得から自分たちの起業アイデアのコンセプトづくりと実行、あるいは就職に際した行動に至る過程全体にわたって関与することの重要性を指摘した。訓練は、他の調査でも参加者の就労を実現させる重要な要素として指摘されており、エチオピア・マラウイ・ネパールで複数国が行った調査「*Understanding Young Womens' Pathways to Economic Empowerment and Resilience in Rural Contexts*(**地方部に暮らすユース女性の経済的エンパワメントとレジリエンス構築の道の理解**)」でも、職業訓練の受講が前向きな影響をもたらすことが明らかになった。そして、若い起業家にマイクロファイナンスを供する重要性に加え、雇用と定着に向けた規則に基づく公正な慣行を整え、特に女性が土地・リソースを活用できる機会を広げて彼らを支えていく環境の果たす役割が、調査を通して浮き彫りになった。

「いい仕事に就き、死ぬまでに何者かになりたいです。旅行したり、自身の為に[お金]を使うには、就労することが重要です。そして、母に家を買ってあげて、彼女を助けるつもりです」

Larissa, 16歳、ブラジル

世界9カ国の100人超の女の子を長期間追跡調査した「*現実の選択、現実の生活*」からも洞察が得られた。思春期後半期、子どもから大人へ、そして学校から仕事の世界へと道を探りながら進む中で、女の子はさまざまな役割と活動にどう時間を使うか**決定を繰り返しながら**、また自分の未来を思い描き、追求する中で、**主体性を示している**。

だが、国による文脈の違いに関わらず、**無償のケア労働**が、ジェンダーに基づく障壁となって雇用と経済的機会を妨げていることは、2024年に実施した複数の調査でも顕著だった。その中の1つ、経済的エンパワメントにつながる道の理解をテーマに行った**調査**は、地方部に暮らす女の子が正規雇用に就く、あるいは自分でビジネスを始める際に直面する他の障壁も浮き彫りにした。その1例として、自分でビジネスを始める際、資金調達のはほとんどない、とユース女性たちは語った。

「女性の経済的自立は重要です。それを妨げている一番の足かせは、初期資金がないことです。また、私たちは無理矢理結婚させられ、学業を続けられない等、家族からの圧力も強いです...」

ユース女性、名前と年齢は不明、エチオピア

自身の起業に家族から支援を受けたと語る回答者がいた一方で、コミュニティから厳しい視線を感じたと話す回答者もいた。「女性はこういう仕事をするべき」という人々の期待があり、女性の受けられる支援や利用できる空間もそれに左右される場所では、チャンスをつかめるかどうかは**ジェンダー規範**が決定すると考えられていた。男性は都市や海外を訪れて職を探ることが多く、それができる可能性も高い一方で、女性はコミュニティに残ることが多く、またそれを期待され、その結果、収入を得る道は農業・牧畜・果物や野菜の販売等の非公式なものに限られてしまう。

メキシコとアメリカの国境に位置するシウダー・フアレスで実施された調査「*危機下の思春期の女の子*」にあるように、危機的状況が長期化する中で、**雇用機会の不足**が祖国を離れる理由になっていると指摘されている。移住者は、書類の不備等が大きな障壁となって、安全で合法的な仕事に就くことが難しい。移動中の女性は、法的地位がないことに加え、雇用主が男性を優先して採用するジェンダー差別の存在により、搾取や人身取引の対象となるリスクが高い。



「起業家になって、自身と家族を養いながら学業を続けることが、私の希望でした」。
Shristi, 20歳、自身の事業を立ち上げた後、学業を続けることができている、ネパール

@Plan International

¹International Labour Organization. 2024. World Employment and Social Outlook: Trends 2024. Geneva: International Labour Office, 2024. © ILO.

²International Labour Organization. 2024. Global Employment Trends for Youth 2024. Decent work, brighter futures, Geneva: International Labour Office, 2024. © ILO.

³MATSH. 2023. Youth Employment Statistics in Africa in 2023

新たにわかったこと 主な評価結果

2024年、4地域の国々で行われた20件のユースの雇用と起業に関するプログラムについて評価の振り返りを行った。

ユースに対する効果的な訓練と能力開発は、2024年のプランの重要な活動テーマの一つであった。世界規模で集計されたデータから、訓練でスキルを身につけるユースの割合が高いことがわかる。このテーマに関する評価でも同様に、参加したユースのライフスキル・職業スキル・起業スキルの向上を示すエビデンスが得られた。成功の鍵としては、各取り組みが現地の市場データとニーズに基づいたものになるよう徹底することに加え、研修・訓練にはネットワークをつくる機会や、実地体験を伴うジョブ・シャドウイングなどの手法を組み合わせることなどが挙げられる。現地機関や専門家との連携も重要な要素であった。

ユースの就業力と機会のためにコミュニティと家族の意識を高め、支援体制を整える取り組みでも、前向きな成果がはっきり表れていた。評価からは、実際に支えられているというユースの実感だけでなく、家族やコミュニティの考え方や支援に関するデータにも改善が見られることが明らかになった。こうした前進は、プロジェクト活動を通じて関係者が関与し、技術・職業教育訓練センターなどコミュニティの主な担い手との関係と活動を活かすことで達成された。例えば以下の事例がある:

- ベトナムでは、「チャンピオン・オブ・チェンジ」などのキャリア選択におけるジェンダー平等に関するイベントに親と教師が参加し、ユースがキャリアを築く機会について学びと意見交換をすすめる、社会経済が急速に変化する状況下で子どものキャリア支援の強化につながった。
- ザンビアでは、家族のメンバー、特に男性がジェンダー啓発研修に参加することで、ユースの自営業立ち上げを妨げるジェンダー規範に対する意識が高まり、態度が変化した。

雇用と起業に関する取り組みは、特にユースが教育やスキルを身につける機会が少ない状況下では、今後も重要である。なかでも、市場分析のエビデンス活用あるいは現地の活動の担い手からの提言を採り入れるといった形で、重要性は高まっている。しかし、特に市場の需要や現地のニーズとの調整あるいは高いコストや複雑なビジネス環境をめぐる課題等、改善の余地があることも明らかになった。(例えば、無償のケア労働の負担や男性優位の分野への進出を阻む壁等)ジェンダー規範とステレオタイプと/あるいは、女性が進出する機会の不足が広く存在する状況では、ジェンダーに基づく障壁に阻まれ、スキルを雇用に結びつけることが困難なケースが今も存在する。

働きかけと民間部門の関与という点では、他の分野より若干証拠が少なかったものの、2024年は様々な成果がみられた。例えば:

- ブラジルと中国の評価報告書は、金融教育とライフスキルのカリキュラム導入という形でプロジェクトの提唱活動が実を結んだことを強調していた。いずれのケースも、意思決定者に段階的なカリキュラムへの導入を働きかける際に鍵となったのは、授業内容の質と影響力であった。
- フィリピンでは、行政に携わる担い手と複数のビジネス協議会と連携したプロジェクトが実施され、ユースの雇用とジェンダーの視点に立った職場づくりに関する啓発に成功した。プロジェクト終了時の結果では、事業主のユース雇用への意欲が強く示され(雇用意欲があると回答したのは95%で、目標の75%を大幅に上回った)。

- エジプトでは、プラン・インターナショナルは「地元コミュニティにおける経済的エンパワーメント活動年次発表会」を設けた。同イベントは、不利な条件下にある州の女性と若い起業家を応援し、経済的自立を後押しする広範な目標の一環として実施され、マイクロ起業家に自身の事業を紹介する機会を提供するものだ。プランは、省庁や金融機関を含む主な関係者と連携し、イベントに参加するだけでなく、ネットワークづくりや財務面のメンター制度、事業拡大支援といった、必須サービスの提供を彼らに促した。

「父は、私が修理について学びたいと思っていることに気づきました。社会的規範や私たちの文化では、これは男性の仕事だと考えられていましたが、父は私に学び続けるよう励ましてくれました。私が夢中になれることなら、きっと高い能力を身につけられると、父は信じてくれました」

- Basma、20歳、エジプト



©Plan International

一層の注力が必要な部分

2024年に得たエビデンスは、今後成果を上げるためにはどこに投資し、どのようにプログラムを設計するかについて、真に求められていることが何か、プラン・インターナショナルはもちろん、セクター全体に重要なメッセージを伝えている:

私たちは、プロジェクト設計段階での市場分析の強化と、関係者との協議を継続する必要がある。ユースが就労して賃金を得たり、起業するためには、リソースをかけて包括的に取り組み、各状況下で具体的に何が不足し、ユースの就労と仕事の継続を妨げているのか、その問題と障壁に対処する必要がある。プロジェクト実施時のさまざまな事情にしっかりと対応するには、これまでに得た学びを基に、プロジェクト設計の段階から(ユースその他関係者と)一貫性のある深い協議を重ね、市場の分析を行うことが求められる。

私たちは、民間部門への働きかけと共に、その他実現に向けたさまざまな環境づくりに一層注力する必要がある。特に、ハラスメントや差別、排除の防止を含む、誰もが安心して働ける職場環境づくりに向けては、持続可能な変化を実現するために、政策や規制、金融サービスの活用を通じて、官民の連携を引き続き強化・拡大していくことが重要である。

また、ユース、特にユース女性を雇用するメリットについて、民間セクターと共に継続的に提唱活動を行う必要もある。ユースの訓練と能力強化への投資が確実に雇用状況と収入面での具体的な変化を生み出すためには、これが極めて重要である。

私たちは、有効な実践例を土台に、ジェンダーや包摂に関する障壁に対応する戦略を各状況に応じて展開しなければならない。女の子・ユース女性・障害を持つ人びとが直面する特定の障壁に対応する、例えばジェンダー規範の変革に一層重点を置くといった、焦点を絞ったプロジェクトを体系的に組み込んでいく必要がある。このためには、女の子・ユース女性、その他集団と引き続き協働し、彼らが何を必要とし、望んでいるか、そして彼らが機会をつかむ後押しするには何が有効かを把握することが必要である。こうした取り組みの効果を把握するには、さまざまな集団の意見を集め、取り組みの進捗と共に、どこでアプローチを変えるべきか知ることも、当然必要となる。

2024年の他の発行物はこちら:

「*Youth Employment and Enterprise Programme Evaluation*」: 2018年~2022年に実施された世界の90の評価を対象にしたメタ評価の主な結果を要約したもの

「*The Girls' Pact for the Future*」: 思春期の女の子とユースが抱える不安と心に描くジェンダー平等で望ましい未来の姿、さらに政策立案者への提言を示したもの

「*現実の選択、現実の生活*」: 2006年に生まれた世界9カ国の100人超の女の子の成長を追跡調査した調査シリーズ

「*危機下の思春期の女の子たち*」: 長期化する危機的状況下を生きる思春期の女の子の声と体験を記録した調査シリーズ



Until we are all equal

プラン・インターナショナルについて

プラン・インターナショナルは、子どもの権利と女の子の平等を推進する独立した開発・人道団体である。私たちは、すべての子どもの力と可能性を信じているが、それが貧困、暴力、排除、差別によってしばしば抑圧されていることを知っている。そして、その影響を最も受けているのは女の子なのだ。

子ども、ユース、支援者、パートナーとともに、私たちは公正な世界を目指し、女の子や脆弱な子どもが直面する課題の根本原因に取り組んでいる。私たちは、子どもが生まれてから大人になるまで、彼らの権利を支援し、子どもが危機や逆境に備え・対応できるようにする。私たちの広がり、経験、知識を活用し、地域、国、そして世界レベルで実践と政策の変革を推進する。85年以上にわたり、私たちは80カ国超ですべての子どもたちの生活を変えるために、決意ある楽観主義者を結集してきた。

皆が平等になるまで、私たちは止まらない。

Plan International
Global Hub
Dukes Court, Duke Street, Woking,
Surrey GU21 5BH, United Kingdom

Tel: +44 (0) 1483 755155
Fax: +44 (0) 1483 756505
E-mail: info@plan-international.org

-  plan-international.org
-  facebook.com/planinternational
-  twitter.com/planglobal
-  instagram.com/planinternational
-  linkedin.com/company/plan-international
-  youtube.com/user/planinternationaltv

表紙写真: 25歳にして、Marcelineは織物事業経営を成功させた事業主である、ベナン ©Plan International

免責事項: 本報告書で使用されている画像は、調査参加者のものではない。全ての画像の使用には、事前に同意を得ている。